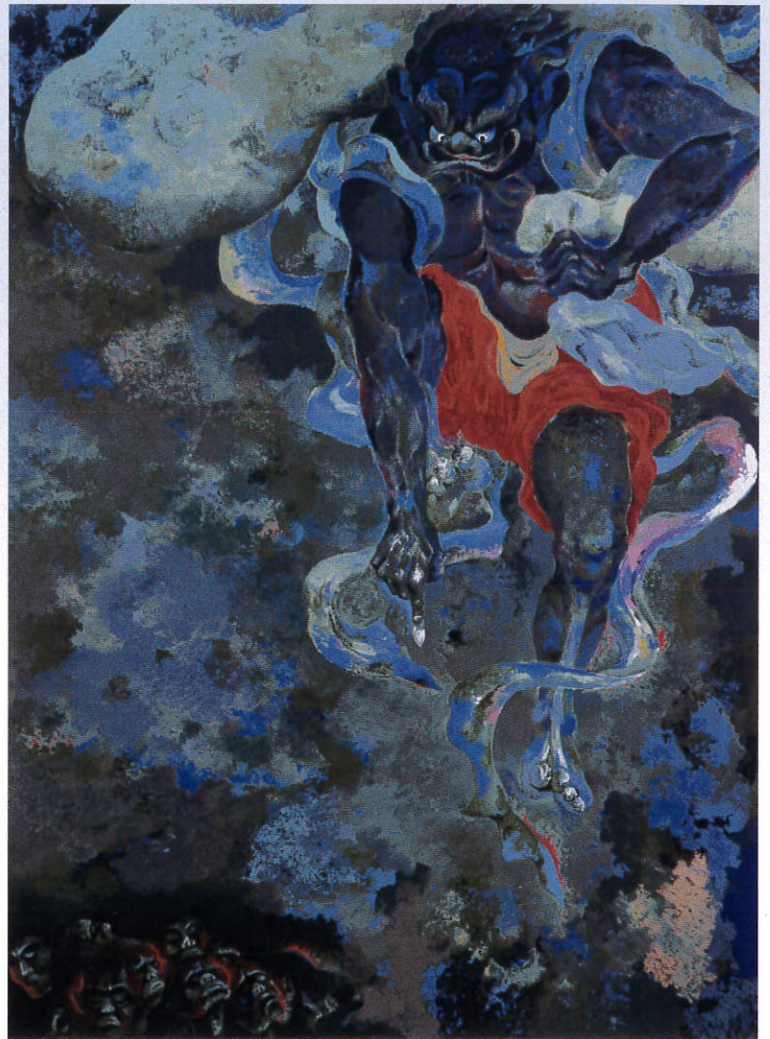


第1展示室

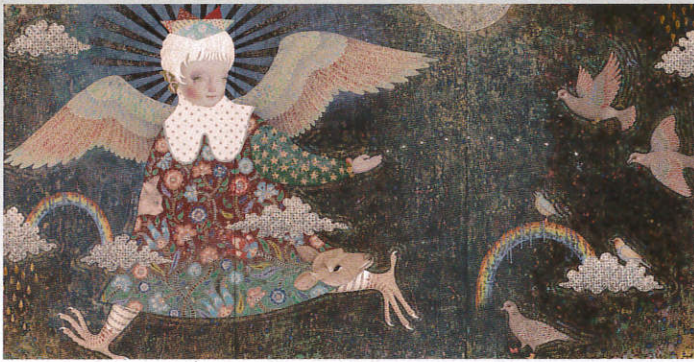
加藤栄三・東一

日展出品作 と下絵

2019年 1月5日(土)~4月29日(月・祝)



加藤 東一 「風神」

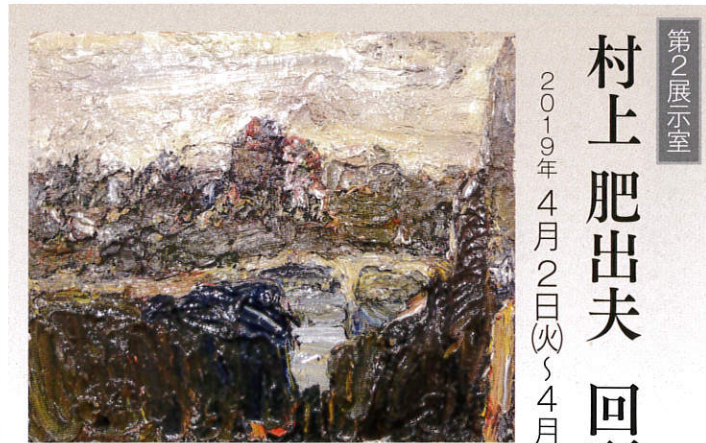


足立 絵美 「popotopia」

第2展示室

ぎふ次世代の作家展

2019年 1月5日(土)~3月3日(日)



村上 肥出夫 「築地付近」

第2展示室

村上肥出夫 回顧展

2019年 4月2日(火)~4月29日(月・祝)



須藤 美保 「香華幻奏」

第2展示室

須藤美保展

2019年 3月5日(火)~3月30日(土)

きらめく時の中で

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410

開館時間：午前9時—午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休館日：月曜日、1月4日(金)、1月15日(火)、2月12日(火)、3月31日(日)
【1月14日(水)、2月11日(水)、4月29日(水)は開館】

観覧料：高校生以上 300円(団体240円) 小中学生 150円(団体90円)

※下記の方は無料となりますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。

①岐阜市在住の70歳以上の方

②身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方とその介護者1人

③岐阜市内の小中学生

④家庭の日【1月20日(日)、2月17日(日)、3月17日(日)、4月21日(日)】に入館する中学生以下の方と、その家族の方

ぎふ次世代の作家展

2019年 1月5日(土)~3月3日(日)

多様化する社会の中において美術に求められているものを探りながら制作を続ける岐阜県ゆかりの作家6名を紹介します。

既成概念の否定から新しい美術の可能性を模索する20~40代の各ジャンルで活躍する若手作家の作品をとおして、これからの岐阜の美術を考える。

出品作家

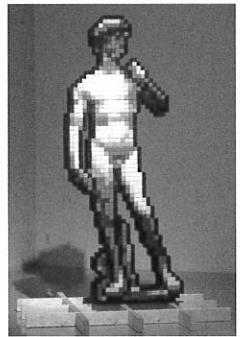
足立 絵美(日本画)	飯沼 由貴(洋画)
鈴木 一太郎(彫刻)	水野 加奈子(日本画)
高木 智広(洋画)	山崎 有美(日本画)



高木智広「雪うさぎ」



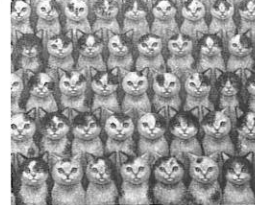
山崎有美「境界」



鈴木一太郎「David React」



水野加奈子「風雷session」



飯沼由貴「みつめる」

須藤 美保 展

～ きらめく時の中で ～

2019年 3月5日(火)~3月30日(土)

岐阜県大垣市に生まれ、子供のころから絵を描くのが好きだった私が、今も絵を描き続けて、岐阜公園の中にある美術館で個展を開催できることは大いなる喜びです。

加納高校美術科50周年記念のグループ展が加藤栄三・東一記念美術館で開催され、私も独立美術協会で発表した200号の作品を2点展示してもらいました。加納高校美術科卒業後、多摩美術大学へと進み、在学中から独立美術協会と女流画家協会、二つの公募展に所属して作家活動を続けてきました。ここ10年ほどは故郷での作品発表の機会も積極的に作っています。そしてこの10年はその前の制作傾向から転換を試み、育ったところの思い出につながる意識を強く表現してみているのです。幼いころ父に連れられて行った里山での山百合採りは、自分の制作意欲の原点という思いが強まったのもそのころからです。この度の個展では今日に至る10年間の作品を展覧し、郷里の皆さんに観覧いただき、根底に流れる自己表現を再確認したいと期待しています。



「香華幻奏」



「香華幻奏」



「櫻華爛漫」

- 1956 岐阜県大垣市に生まれる
- 1975 岐阜県立加納高等学校美術科卒業
- 1980 独立展出品(以後毎年)
(独立賞・野口賞・小島賞・奨励賞・佳作賞)
- 1982 女流画家展出品(以後毎年)(神部文子賞)
- 1983 多摩美術大学大学院修了
- 1987 岐阜県美術展優秀賞('88秀作賞)
- 1998 文化庁現代美術選抜展
- 2001 前田寛治大賞展出品
- 2007 損保ジャパン選抜奨励展出品
岐阜高島屋個展('15,'18)
- 2014 個展(日本橋三越美術館サロン)
- 2016 The Regina展(高島屋大阪店)'18
- 2017 立の会(銀座日動画廊)

現在 独立美術協会会員・女流画家協会委員
日本美術家連盟会員

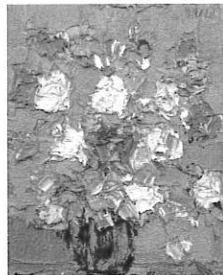
村上 肥出夫 回顧展

2019年 4月2日(火)~4月29日(月・祝)

「色彩の魔術師」と称された洋画家：村上肥出夫は岐阜県土岐市に生まれ、父の実家である養老郡養老町橋爪で育ち、ゴッホに憧れ独学で絵を学び始めます。

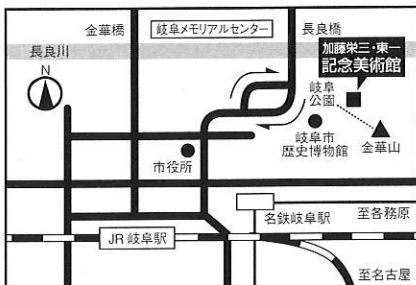
20歳で上京し銀座の路上で絵を売っていたところを彫刻家・本郷新氏に見出され画壇の表舞台に出てきます。チューブから絞り出した絵具をそのままキャンバスに擦り込むように描かれた画面は重厚であり、かつ鮮やかで、その魅力に多くの著名人も称賛してきました。

2018年7月、84歳で亡くなった村上肥出夫の画業を顕彰します。



① コンコルド広場 ② 薔薇 ③ ヴェニス ④ 風景(岐阜)

- 1933 岐阜県土岐郡肥田に生まれる
- 1945 父の実家があった養老郡養老町橋爪に戻る
- 1953 画家を志望して上京。日雇い職をしながら独学で絵の勉強に努める
- 1961 彫刻家 本郷新氏に出会い、鬼屋画廊・西川武郎氏の知遇と援助を得る
- 1963 安井賞展出品
- 1964 大阪芸術祭(毎日新聞社主催)で個展を開催
渡米
- 1971 銀座松坂屋で「村上肥出夫新作油絵展」を開催し、川端康成氏より言葉を贈られる
- 1972 バリで作品を制作し、「サロン・ドートンヌ展」に出品して、銀賞を受賞する
- 1979 益田郡萩原町に自宅アトリエを構える
- 1986 岐阜県美術館で個展開催
- 2018 7月逝去(84歳)



交通案内

JR岐阜駅または名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きバスで「岐阜公園・歴史博物館前」で下車(所要時間約15分)・徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェー駅横)

駐車場

岐阜公園北側の場外駐車場(有料)をご利用ください。なるべく公共交通機関をご利用ください。

岐阜市歴史博物館分館
加藤栄三・東一記念美術館

貴方も友の会会員になってみませんか!

岐阜市歴史博物館
加藤栄三・東一記念美術館
友の会 会員募集

—文化の時代 心に潤いと豊かさを—

特典

- ・会報の配布、各種催しもの案内が受けられます。
- ・展覧会などの催しものが無料で何回でも観覧できます。
- ・会員の引率する観覧者は団体割引料金になります。